

気付こう! 自分のアンコンシャス・バイアス

右の絵は、くまもと県民交流館パレア男女共同 参画センターが作成した啓発パネルです。

過去の経験・情報・知識・価値観・周囲の意見 などから、無意識に思い込むことを「アンコンシャ ス・バイアス」といいます。

誰しもが潜在的に持っている思い込みであり、 良い・悪いというものではありません。

しかし、「自分にもアンコンシャス・バイアス があるはず|と気付き、意識できるようになれば、 性別にとらわれないものの考え方や相互理解に繋 がっていきます。

まずは自分のアンコンシャス・バイアスに気づ くことから始めてみましょう。

免許返納後の

支援制度は



★ くまもと信息交易目パレア 別交 男女共同参画センター

商工観光課 ☎32-1604

「○○ペイで返金します」は詐欺です

ネットショッピングで商品を購入した , 際、販売業者から[欠品のため、○○ペイ決 済アプリで返金する」などと言われ、返金手 続きに誘導。返金してもらうはずが、いつの

アドバイス

間にか送金してしまった。

- ■「○○ペイで返金します」と言われたら詐欺を 疑ってください。
- 通販サイトを利用する際は、販売業者の所在地 や連絡先、販売責任者名などの情報をしっかり 確認しましょう。
- ●少しでも不安に思ったら、すぐに消費生活セン ターなどに相談しましょう。

相談は **宇城市消費生活センター 公33-8277** へ

かしこくみんなの

熊本東年金事務所 ☎096-367-2503

年金学

今月の年金相談は **要予約** 1日・15日® 10時~15時 新館第5会議室

国民年金第1号被保険者の皆さまへ 月400円の保険料で年金額が上乗せに

国民年金第1号被保険者(自営業者や学生など) は、付加年金に加入できます。これは、将来受け 取ることができる老齢基礎年金額が上乗せされる 独自の制度です。

10年間納付した場合

支払う付加保険料 400円×120月=48.000円 もらえる年金額 200円×120月=24,000円

毎年24.000円が年金額に上乗せ

- ・納付は、申請月から開始
- ・保険料の納期限を過ぎた場合でも、期限から2年間 は付加保険料を納付できます。
- ・付加保険料は、老齢基礎年金と合わせて受給する終 身年金ですが、定額のため物価変動しません。

詳しくはこちら 日本年金機構



で

の

た

め

免許返納

をため

のではな

と移動手段が限ら

今日は、

免許返納後の交通手

免許返納後の交通

手

段

熊本県の免許返納率 7.6%(44位)

宇城市地域公共交通

アンケート(WEB)

にご協力ください

交通事故 を自主返納 家族をは や道を決 スク ること

けて運転する」な り運転する じめ、 める

を減らす

市ホームページ で確認できます SET- OIC CARD

> 免許返納後、バス会社窓口で交 付の手続きを行ってください。 対象は、満65歳以上です。

分)」を 0) 電などで利 的に、県内 仮の地域公 力

し公 ます交換を 通 の 利用 を 支

郷の記憶をたどる

文化スポーツ課 ☎32-1954

私たちが暮らす宇城市の郷土にまつわる さまざまな文化の魅力を発信します

先駆けの恩賞地海東郷

一元寇って知ってる?③一

文永の役で先駆けとしての功績を果たし、恩賞 の沙汰を待っていた竹崎季長でしたが、鎌倉幕府 からは何の連絡もありませんでした。

季長は家督争いに負け、恩賞を得られなければ 自身の人生には後がないと考えていました。

業を煮やした季長は、幕府に直訴しようと馬の 鞍を売って工面した路銀(旅費)をもとに、わずか な家臣を連れ鎌倉へ向かいました。

道中、烏帽子親(当時の成人にあたる元服の際 に、仮親として儀式を行う人)であった三井季成 に面会し、神仏に直訴の成功を祈りながら鎌倉に 到着しました。しかし、恩賞奉行(恩賞を決定す る幕府の役人)には取り次いではもらえず、約2 カ月の間、待ち続けました。

ようやく恩賞奉行の安達泰盛に面会できた季長 は、戦での自身の功績を報告し、それが認められ 海東郷 (宇城市小川町海東)の地頭 (一定の領地



休館日 月・木曜(祝日の場合はその翌日) 住所 豊野町糸石3818 ☎45-2102

を治める管理職)に任じられました。肥後に戻っ た季長は、わずか3日で準備を整え海東郷に拠点 を移しました。

現在の海東地区には、季長が菩提寺として建立 した塔福寺、阿蘇神社の祭神を勧請した海東阿蘇 神社のほか、季長の墓と伝わる五輪塔などが残さ れています。



恩賞奉行の安達泰盛に直訴する竹崎季長(青い着物の人物) (皇居三の丸尚蔵館収蔵「蒙古襲来絵詞」より)

15 広報うき 2024・10・1